

### Topics

- 「広域的なまちづくりの背景と検討状況」についてお伝えします。
- 「村岡・深沢地区全体整備構想（案）」についてご紹介します。
- まちづくりの動向についてお知らせします。

今号では、藤沢市村岡地区を含む「広域的なまちづくり」について、これまでに取り組んできた検討の内容をお知らせします。

## 広域的なまちづくりの背景

藤沢市村岡地区を含む「広域的なまちづくり」の背景について振り返ります。

### ◆ 広域的なまちづくりのスタート

鎌倉市の深沢地区では、昭和62年4月の国鉄改革をきっかけに国鉄清算事業団用地が誕生し、「新たな都市拠点形成に向けた検討」が始まりました。また、隣接する藤沢市村岡地区においても、湘南貨物駅跡地に新駅構想が位置づけられ、両市においてJR東海道本線の新駅を前提とした、広域的なまちづくりの検討が始まりました。



### ◆ 深沢地区の基本計画の策定

鎌倉市では、深沢地区の計画づくりを市民参画のもと進めていきましたが、平成8年に藤沢市では村岡地区整備基本構想が白紙撤回となり、その後も新駅を中心としたまちづくり基本構想の具体化が遅れ、新駅構想が不透明となりました。そこで、鎌倉市では新駅を一旦脇において計画づくりを進め、平成16年9月に「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」を市民参画により策定しました。

### ◆ 新駅を含む広域的なまちづくり計画の転機

鎌倉市では、平成18年3月にJR東日本鎌倉総合車両センターの工場機能が廃止となり、まちづくりの気運が一気に高まりました。時を同じくして、平成18年10月、神奈川県が武田薬品工業(株)湘南工場跡地に同社の新薬研究所を誘致したことをきっかけに新駅構想が現実味を帯びました。こうしたことを受け、平成19年8月に、両市が国・県・JR等の参加のもと「村岡・深沢地区全体整備構想検討委員会」を設置し、村岡・深沢両地区を含む広域的なまちづくりの将来像等の検討が始まりました。

# 広域的なまちづくりの検討状況

## ◆ 新駅を前提とした広域的なまちづくりの検討状況について

広域的なまちづくりの背景のもと、鎌倉・藤沢の両市で「広域的な視点からの本地区の将来像」やそれを実現するための「インフラ<sup>※</sup>機能等の課題の対応方策」、「まちづくりの推進体制や今後の進め方等」を検討するために、「村岡・深沢地区全体整備構想検討委員会」（委員会の構成は下表参照）を平成19年8月に設置し、平成20年3月に検討内容を取りまとめた「村岡・深沢地区全体整備構想(案)」を策定し、その役割を終えました。

これを受けて、平成20年度に「湘南地区整備連絡協議会」（委員会の構成は下表）において新駅設置の効果等を検討する「村岡・深沢地区拠点づくり検討調査」を実施しました。鎌倉・藤沢の両市では、協議会や全体会、意向調査等を通して、権利者・地元・市民の皆さんと意見交換を行い、広域的なまちづくりの連携を図っています。



※インフラとは、道路や駅などの生活や社会を支える社会基盤・構造物のことです。

# 村岡・深沢地区全体整備構想(案)の概要

今号では「村岡・深沢地区全体整備構想検討委員会」で策定された「村岡・深沢地区全体整備構想(案)」の概要として、「土地利用構想案」、「道路インフラ整備の基本方針」及びこれらを具体化していくための「役割分担を含む推進体制と今後の進め方」についてご紹介します。

## ◆ 土地利用構想案について

### 1. 村岡・深沢地区の将来像

「村岡・深沢地区の将来像」を描くにあたり、まちづくりの視点・方向性を踏まえ「健康と知性を育み、人々がふれあうまち」を目標に3つの将来像を定め、また将来像を具体化するための「核となる機能」について以下のとおりまとめています。

#### 1. 地域資源を活かした次世代につなぎ育む新たな都市環境をつくる

- 地域に貢献する豊かな都市環境・美しい都市景観の形成
- 周辺の自然や文化を活かした新たな自然環境の創出
- 他都市の先進モデルとなる環境配慮型のまちづくり
- 住民・企業・行政が連携・協力した持続可能なまちづくり



地域の安らぎと憩いの場  
・ポケットパーク※1

将来像を実現  
するために・・・

#### 核となる機能

- ・地域ブランド創出ゾーン
- ・自然環境骨格軸/緑と水の軸

#### 2. 多様な交流を軸に新たな魅力を創出する、活力に満ちたまちをつくる

- 知を育む、多彩な交流の創出拠点の整備
- 活気に満ちた賑わいの場の創出
- 駅が持つポテンシャルを活かした情報の集積・発信の場の整備



地区住民同士の  
ワークショップ※2

将来像を実現  
するために・・・

#### 核となる機能

- ・交流軸
- ・文化・交流ゾーン
- ・交流・情報発信の核
- ・賑わい核

### 村岡・深沢地区の将来像

#### 3. 地域を誇りに思い、豊かで安全・安心な暮らしをつくる

- 誰もが健康で、安全・安心に暮らせる都市居住の実現
- 日常生活を支援する便利施設・機能の充実
- 地域に暮らす誇りと精神的な豊かさを育む環境の創造
- 多様な世代が楽しみながら学べる文化・学術環境の整備



健やかな暮らしをサポート  
する病院・クリニック

将来像を実現  
するために・・・

#### 核となる機能

- ・賑わい核
- ・地域ブランド創出ゾーン
- ・健康的都市生活ゾーン
- ・交流軸
- ・文化・交流ゾーン

※1 ポケットパークとは、道路整備や交差点の改良によって生まれたスペースに、ベンチを置くなどして作った小さな公園です。

※2 ワークショップとは、参加者が専門家の助言を得ながら問題解決のために行う研究会や、参加者が自主的活動方式で行う講習会をいいます。

## 2. 土地利用構想案

土地利用構想案は、「村岡・深沢地区の将来像」を踏まえ、新駅と湘南モノレールの湘南深沢駅をつなぎ、まちづくりの核となる“拠点形成エリア”と、都市環境・生活環境の向上を図る“周辺エリア”に分けて設定し、両エリアがお互いに高め合うような『調和と相互支援』によるまちづくりを推進することとしています。

### ○新たな価値を創造する「拠点形成エリア」と良好な都市環境整備を実現する「周辺エリア」

#### ① 拠点形成エリア

新駅、交流施設、集客・賑わい施設及び生活利便施設などの核となる機能施設により、住民や就業者、来街者に新たな価値を提供します。

#### ② 周辺エリア

狭隘道路、生活道路の改善や防災面の強化など総合的な市街地環境整備によって、現況の課題を解消し、良好な都市生活を実現します。

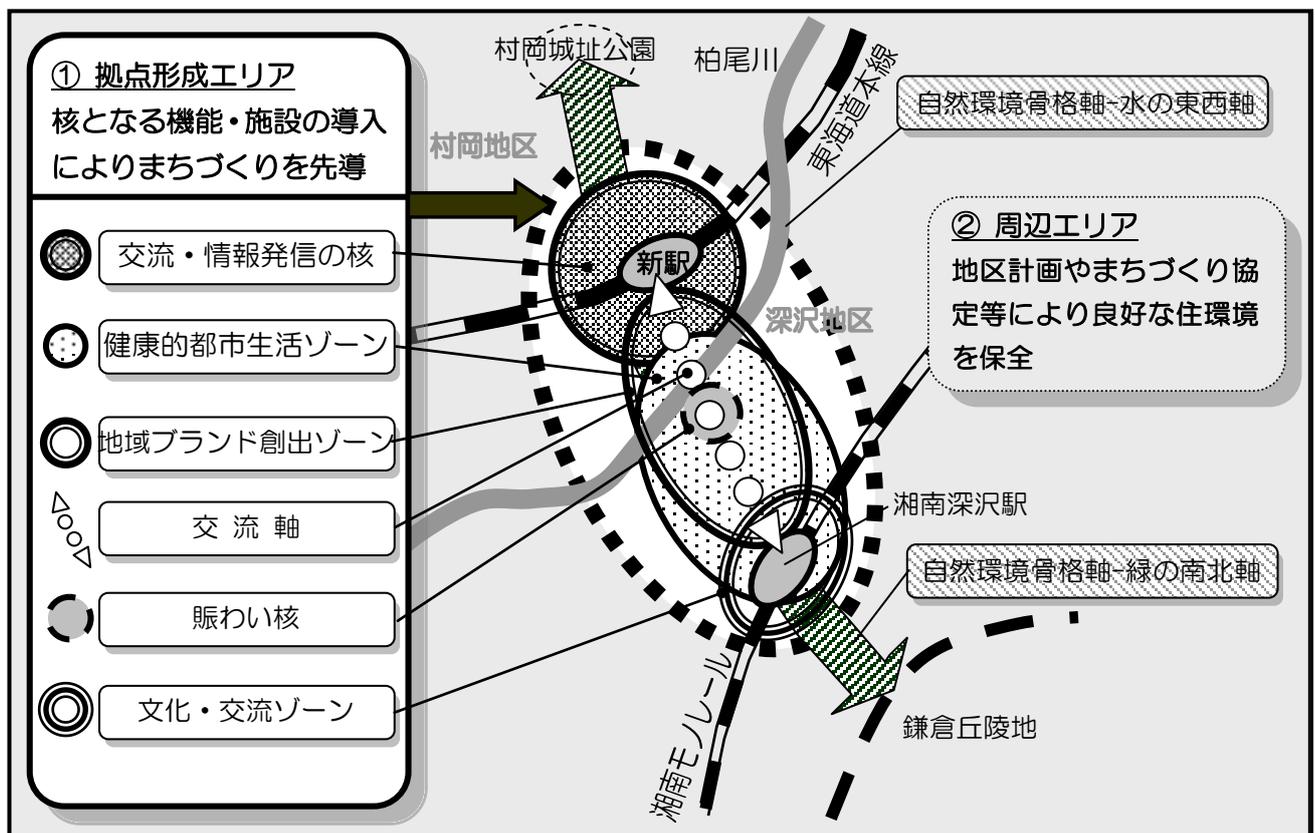
### ○周辺市街地と「調和」した一体感のあるまちづくり

バランスの良い機能配置、機能の保全及び更新などに適切に配慮しながら、拠点形成エリアと周辺エリアとが調和のとれたまちづくりをめざします。

### ○両エリアがお互いにメリットを享受できる「相互支援」

拠点形成エリアは、まちづくりにおいて、周辺市街地の持つイメージや居住環境というポテンシャルを活かすことができます。

周辺エリアの居住者や就業者にとっては、拠点形成エリアにある魅力的で利便性の高い施設を利用できるというメリットを享受できます。



## ◆ 道路インフラ整備の基本方針について

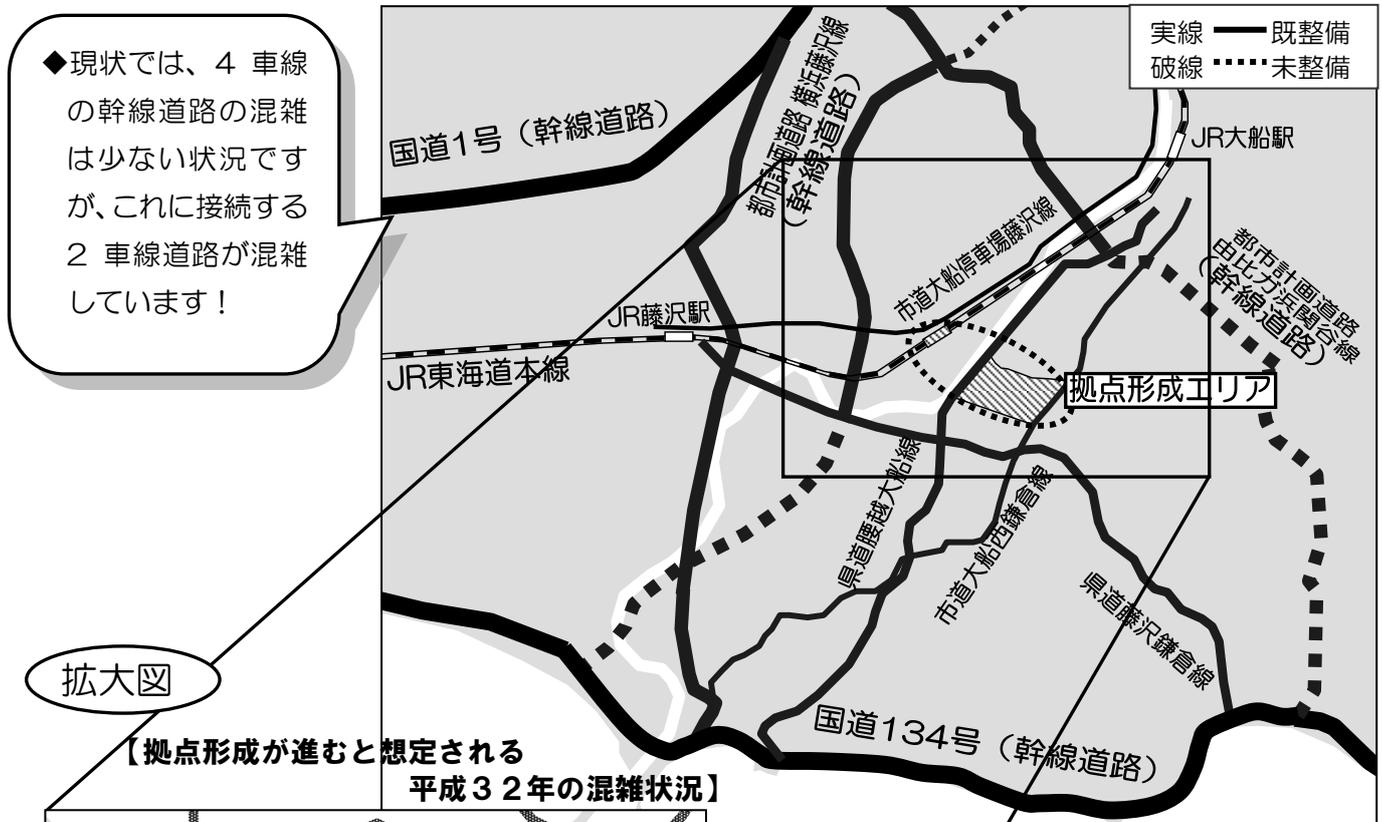
### 1. 道路インフラ整備の背景と基本方針

広域における道路インフラの現状として、現在、4車線の幹線道路である都市計画道路横浜藤沢線などは混雑が少ない状況ですが、これに接続する2車線道路（県道藤沢鎌倉線、県道腰越大船線、市道大船停車場藤沢線、市道大船西鎌倉線）は、現況において既に混雑している状況となっています。

更に、拠点形成が進むと想定される平成32年時では、拠点を形成することにより交通が発生し、集中することにより、現状の道路網の混雑が更に増すとの見通しができました。

以上の結果により、今後拠点形成を行う上では道路網の整備は欠かせないものと考えられます。具体的には、交通混雑を緩和するために、拠点エリアから幹線道路へ連絡する南北方向・東西方向の2方向で、幹線道路に接続する2車線道路の強化の検討が必要と考えられます。

【現状の拠点形成エリア周辺の道路網】



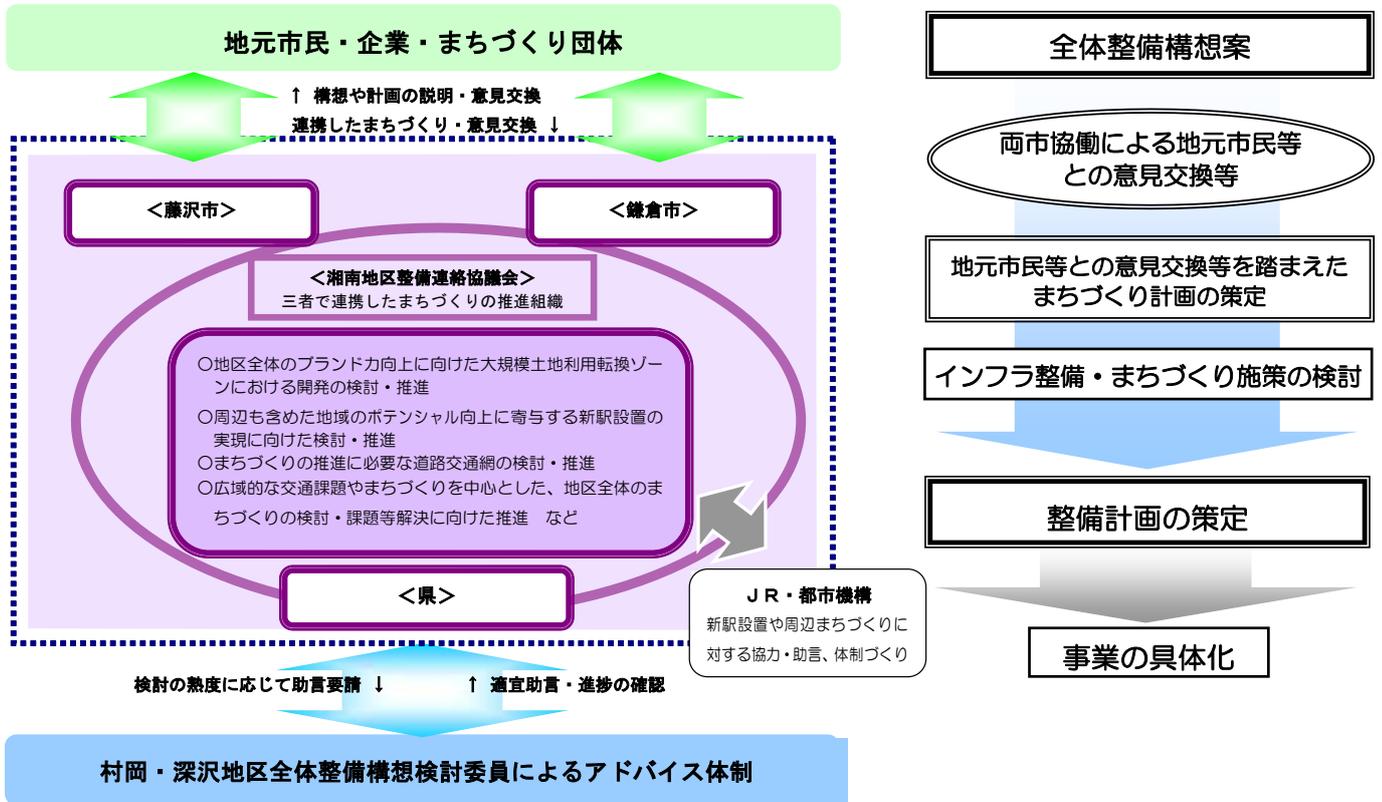
拡大図

【拠点形成が進むと想定される平成32年の混雑状況】



## ◆役割分担を含む推進体制と今後の進め方

広域的なまちづくりの推進には、権利者・地元市民や企業と、鎌倉市、藤沢市、神奈川県などの行政、その他の関係主体が連携・協調して、地区の将来像の実現に向けて、推進体制を構築していくことが重要なことから、引き続き「湘南地区整備連絡協議会」を中心として取り組んでいきます。



## 深沢地区のまちづくりを取り巻く動向

### ◆陳情が採択されました

平成21年8月25日付で、鎌倉市議会へ「面整備ゾーン内西側地権者有志」の方々より『「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」を基に、市有地である旧国鉄清算事業団用地やJR東日本鎌倉総合車両センター用地等を中心とした「面整備ゾーン」の土地利用計画及び導入公共機能を早期に確定し、面整備ゾーン内に住む西側地権者の生活設計が一日も早く確立できるように、議会として推進してほしい。』という陳情が出され、議会において全員賛成で採択されました。

### ◆西側権利者の方への意向確認が始まりました

平成21年9月から、西側権利者75名の方々に対して、将来の土地利用や換地先等について個別の意向確認を開始しました。この意向確認はほぼ11月中に完了し、今後土地利用計画の策定に反映しようとするものです。

#### ★お知らせ★

次回のまちづくりニュースでは、「湘南地区整備連絡協議会」が実施しました「村岡・深沢拠点づくり検討調査」について、お知らせします。

計画についての問い合わせ先：

鎌倉市 拠点整備部 鎌倉深沢地域整備課

〒247-0056 鎌倉市大船二丁目7番8号

TEL：0467-44-7071 FAX：0467-47-3029

E-mail：kamafuka@city.kamakura.kanagawa.jp

http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyoten/index.htm